

美咲の「鬼山城」

CGで“復元”

井上さん作 画期的と好評



鬼山城をCGで再現した井上さん

美咲町打穴中の中世山城「鬼山城」を広く知ってもらおうと、同町打穴下、神職井上功太さん(62)がコンピュータグラフィックス

(CG)で城を“復元”した。地域イベントで上映され、「視覚的に城の様子が分かるのは画期的」と好評だ。美作地方の山城などに関する12の保存会で作る「美作の中世山城連絡協議会」によると、「図面化した例はあるが、CG化は珍しい」という。

鬼山城の詳細は不明だが、平安末期に造られ、戦国時代に武將玉置玄蕃守が再度築き直し、1574(天正2)年に尼子勢に攻められ落城したという文献も

機関誌で支援広げよう

県ボランティア・NPO活動支援センター



東日本大震災支援の特集が掲載されたボランティア

東日本大震災 活躍の人・団体特集

県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」(岡山市北区南方)は、機関誌「ボランティア」から年に4回発行。全8頁で本年度は東日本大震災の被災地支援に活躍する人・団体の特集を展開。被災地でボランティアを希望する市民とボランティアを募る人・団体との懸け橋として、支援の輪を広げる役割を担っている。

昨年12月に発行された最新号では、岡山経済同友会が県内の大学生に呼び掛けて組織した「復興支援ボランティア」の参加学生のインタビューや、津波で汚れた写真の洗浄活動をしている倉敷市社協の取り組みなどを紹介。被災地でのボランティア情報も掲載している。

これまでも、被災者受け入れ活動に取り組みボランティア組織「おいでんせえ岡山」、県内に避難してきた母親を支援する「岡山市子育て応援団ピピママ」などを紹介してきた。

同センターの林武文さんは「震災から間もなく1年がたつが、息の長い支援が欠かせない。ボランティアを通じて岡山でできる活動に役立ててほしい」と話している。

同センターのホームページで閲覧できるほか、市町村の社協で配布している。(竹久祐樹)

残る。曲輪、土塁、本丸跡などの遺構が現存している。

井上さんは城のあった山を東西南北から撮影。同協議会の山形省吾研究部長(85)＝津山市一方＝が2007年

「鬼山城の名前は知っていても、どんな城だったか詳しく知らない人も多い。少しでもCGを作った。」

「鬼山城の名前は知っていても、どんな城だったか詳しく知らない人も多い。少しでもCGを作った。」

CGは地域イベントで上映された。今後は鬼山城などの保存活動に取り組み町おこしグループ「打穴中「鬼山

多くの人に当時の様子を理解してもらいたい」と井上さん。

「さらに当時の様子に近づけよう取り組んでほしい」と話していた。(仁井名小百合)

自慢の句 出来栄え競う

新春津山大会 日常や社会題材に



力作を投句する愛好家

「第32回新春津山川柳大会」(津山市主催)が15日、同市山北の市総合福祉会館で開かれ、県内外の川柳愛好者ら150人が社会情勢や日常生活を捉えた句を作り、出来栄を競った。

参加者は「葉」「正明さ

岡山 秀作展あす

国内最大の総合美術展で開催。5科(日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書)の会員が、近年の受賞作や新作を並べ、感性を磨き合う美術展となっている。

今年文化功労者の書家高木聖鶴氏、日本芸術院会員の彫刻家蛭田二郎氏、岡山日展会長の洋画家福島隆壽氏ら186人が各1点